



IMSUT & RCAST GCOE セミナー開催のご案内

## 医科学研究所システム疾患モデル研究センター 若手研究者セミナー

日時：2011年11月2日（水） 14:00～17:10

場所：東京大学医科学研究所（白金キャンパス）2号館2階大講義室

システム疾患モデル研究センターは、2009年に従来のヒト疾患モデル研究センターから改組となり、新しく生まれ変わりました。発生工学をベースに、発生、免疫、がん研究を展開していますが、センターのポスドクを中心とした若手研究者の研究をご紹介します、議論の場になりたいと思いますので、皆様方多くのご参加を歓迎致します。（事前参加登録不要です。）

14:00-14:25 鄭 琇綯（分子病態研究分野）

「細胞上に発現するケモカインレセプターCXCR4の自己免疫性関節炎の発症における役割」

14:25-14:50 小沢 学（発生工学研究分野）

「生殖細胞の発生を調整するヒストン脱メチル化酵素 Fbxl10 の働き」

14:50-15:15 星名 直祐（発癌機構研究分野、癌細胞シグナル研究分野）

現在、沖縄科学技術研究基盤整備機構・細胞シグナルユニット所属）

「大脳皮質—基底核トポグラフィック神経回路のシナプス発達におけるプロトカドヘリン 17 の役割」

15:15-15:40 柴田 琢磨（自然免疫研究分野、感染遺伝学研究分野）

「マクロファージに存在する細胞内 Toll Like Receptor4/MD-2 の機能解析」

15:40-15:55 コーヒーブレイク

15:55-16:20 南部 あや（システムズバイオロジー研究分野、フロンティア研究拠点）

「接触性皮膚炎と IL-25」

16:20-16:45 日下 智聖（分子病態研究分野）

「2種の関節炎自然発症モデルマウスより探索された関節炎感受性候補遺伝子とその生理機能解析」

16:45-17:10 千村 崇彦（発生工学研究分野）

「細胞外局在蛋白質による神経幹細胞の制御機構」

世話人：吉田進昭 教授 発生工学研究分野、岩倉洋一郎 教授 分子病態研究分野

問い合わせ先：発生工学研究分野 Email:nobuaki@ims.u-tokyo.ac.jp TEL:03-5449-5753